

本願寺函館別院 新生事業推進計画

SHIBUNRIJIN  
新生事業  
推進計画

# 再建だより

第2号



「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>

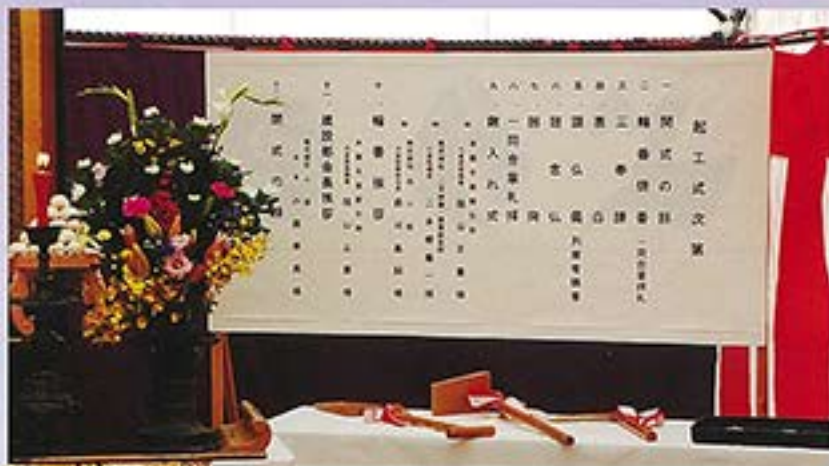
# 起工式

◆3月4日 新本堂建設地にて

仏光照護のもと機縁の純熟をよろこび、仏恩に感謝して完遂の決意をあらたにする儀式

旧本堂の解体が終わり、これから新本堂が建てられる場所で、着工に向けての「起工式」を行いました。

太陽と青天の下、別院門徒役員と工事に関わる方々に参列いただき、お勤めの後に鍬入れ等を行い、建設への強い気持ちを確認しました。



「起工式」の流れを記した式次第



「起工式」のお荘厳

## 日本堂の解体



3月23日 広がる更地。



2月8日 親鸞聖人像の移設。初めて分かった背の高さに驚きです。



2月19日 今では懐かしい旧本堂の姿。



解体中、旧本堂よりさらに前の本堂のレンガが出てきました。



2月23日 ついにシャベルがかかった瞬間。今までありがとうございました。



2月8日 ご修復のため、京都の職人さんによって搬出されました。



参列者によるお焼香



式参列者と入場する別院僧侶



鎌入れ式。まずは陰山輪番による鎌入れ。



陰山輪番導師の下、厳かに読経。

## 基礎工事



5月19日 床のセメントが塗られています。



4月9日 基礎の上に鉄筋が組まれています。



3月10日 こんなに大きな杭が何本も打ち込まれました。



4月18日 工事スタッフのみなさんによる、現場での入念な打ち合わせ。



4月19日 基礎コンクリートの中にはこれほどの鉄筋が編みこまれています。



3月28日 土台が重機で掘られていきます。

# 重みを併せもつ新本堂!



新本堂内完成予定図



本願寺函館別院  
輪番 田中 明宏

この度四月二日付で本願寺函館別院輪番として着任致しました、田中明宏と申します。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、本願寺函館別院新事業は、五ヶ年の推進計画として二〇〇九(平成二十二年)四月二日よりスタート致したことであります。

この間、中尾史峰前々輪番時においては、第二十四代即如門主よりの本堂除却新築等の御認許並びに「本願寺函館別院新事業」完遂に向けての消息「発布申請の手続きが行われました。続いて就任の陰山正憲前輪番時においては、新事業計画一部変更、境内地模様替、特別財産処分の御

認許手続きを経て、本年二月本堂の解体が開始され、三月四日に起工式を迎えたこととあります。

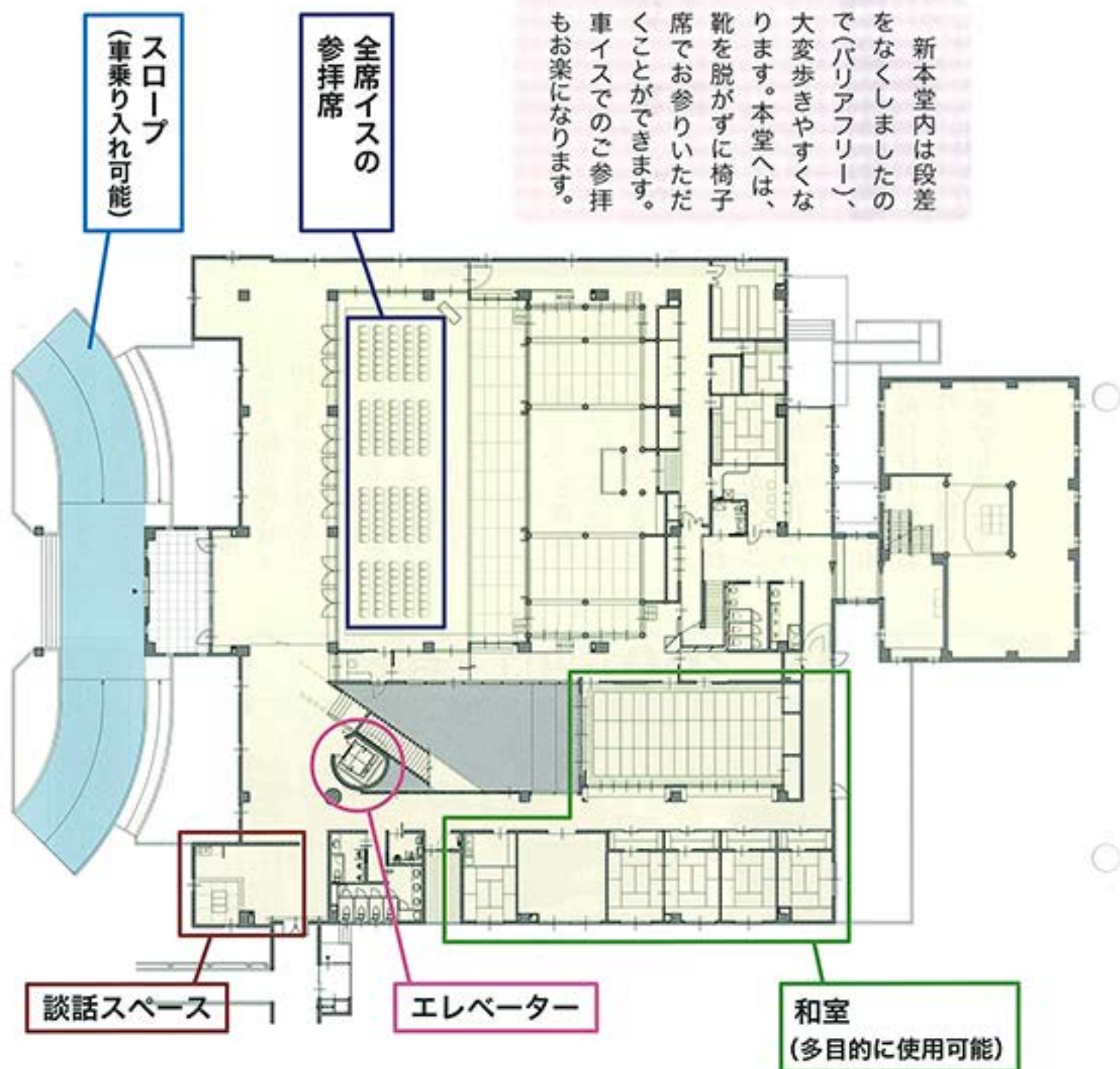
現在は本堂全面の基礎工事が行われ、一階床面の打設(セメント塗り)、柱部分の配筋(鉄筋の柱立て)、柱枠の取り付けから梁への配筋へと進められております。

今後、明年三月の本堂完成(予定)へ向け、前々・前任の両輪番の敷かれたレール上を一心に進んでまいる所存です。聖人七百五十回大遠忌を機縁としての新生の大事業、この本願寺函館別院が完成のあかつきには、建築物としては函館の地のシンボルの一つとなり、ご門徒・信徒の方々は言うに及ばず、別院を訪ねて下さる皆様の心の拠り所となることを大きな願いと致しております。

どうぞ皆様方の物心両面の更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

# 新様式の中にも歴史的

新本堂内は段差をなくしましたので(バリアフリー)、大変歩きやすくなります。本堂へは、靴を脱がずに椅子席でお参りいただくことができます。車イスでのご参拝もお楽になります。



「道南における信仰と文化のセンター」、そして「地域コミュニティ」のための建物」を目指して建てられます。この建物には、本堂以外に、くつろげるスペースやさまざまな広さのお部屋が設けられます。

別院行事でのお参り以外にも、規模の大小に関わらずご法事やお葬儀の会場としてお使いいただくことができます。そして信仰・聞法の場としてはもちろん、講演会・会議・教室などのさまざまな目的にもお使いいただくことができます。

## ご懇志 20万円以上お扱い

### 院号



ご懇志をご進納くださったご本人、家族の方、故人、どなたの院号として申請されるか、お伝えください。

ご本山よりこのような形でお届けされます。



※院号のみのお渡しとなります。法名については下記をお読みください。

「院号」は、もともとは寺院の名をもってそこに住む僧侶を呼ぶ風習が平安時代ごろから起こり、現在、浄土真宗本願寺派では、宗門の護寺発展に功績のあった方、または、社会に対する功労が顕著であると認められた方に、宗門より授与されるものです。

●法名(釋○○)を既にいただかれています方は、その旨をお伝えください。  
●今回、先に院号をいただかれた方は、是非これから帰敬式(おかみそり)を受けて法名を授かってください。

帰敬式は京都のご本山でほぼ毎日行われており、また、この別院の大遠忌法要でも受式できます。

## ご懇志 300万円以上お扱い

### 記念納骨壇



季節を問わず、雨の日でも自由にお参りできます。



### お持ちの納骨壇から 記念納骨壇へ変更の方へ

※記念納骨壇(300万円)から、現在お持ちの納骨壇(冥加金)を引いた額とさせていただきます。

例

記念納骨壇 普通壇  
300万円 - 100万円 = 200万円



開扉時

- 形状…独立タイプ
- 寸法  
高さ235cm×幅95cm×奥行65cm
- 三尊  
御本尊絵像・親鸞聖人絵像・蓮如上人絵像
- 仏具  
花立・電気式輪灯・電気式ローソク・電気式香炉・リン一式
- 御骨収納数…16個

新生事業のご懇志は分割でお納めいただくこともできます。どうぞご相談ください。

## ご進納ありがとうございました！ 株式会社 森川組



この新生事業の本堂新築・境内地整備を施工いただいています森川組の社長(当別院門徒総代)と専務が、高額のご懇志進納のためにお越しく下さいました。

今後の別院のために、大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

## ご新調ありがとうございました！ 財団法人 仏教伝道協会



写真は日本堂の須弥壇

旅行などでホテルにお泊まりの際に、部屋に『仏教聖典』が置かれているのをご覧になったことはございますか？

(株)ミットヨ創業者の沼田恵範氏が仏教を世界に伝えるために発願・設立され、聖典の配布やその他多くの活動をされている「仏教伝道協会」より、新本堂内陣でご本尊をご安置する須弥壇をご新調いただくことになりました。

このご進納により、当別院新生事業が全国的に周知いただけることとなり、大きな励みとなりました。誠に有り難うございました。

### 現在のご懇志進納状況 (平成24年5月31日現在)

	現在ご進納金額	目標金額
別院門徒懇志	184,234,500円	300,000,000円
崇敬寺院懇志	17,150,000円	15,000,000円
特別懇志	23,800,000円	150,000,000円
協賛懇志	29,492,209円	30,000,000円
協力懇志	24,353,000円	10,000,000円
合計	279,029,709円	505,000,000円

御芳志有り難くお受け致しました。引き続き、早期ご進納ご協力のほど、お願い申し上げます。

### 工程表(予定)

	平成24年						平成25年			
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本堂	新築工事		(上棟式) (内陣宮大工工事)						竣工	
文化会館							改修工事			
納骨堂							改修工事			
職員住宅							新築工事			

当別院新生事業の記事が5月24日付の北海道新聞、2月27日付の函館新聞に掲載されました。

## 別院・納骨堂へのご参拝について

工事終了までご不便をお掛けして申し訳ございませんが、  
下記をご参照にして、どうぞ今まで通りお越しください。

7月お盆参り  
臨時駐車場 7月10日～16日

